

6月10日～11日の本会議では、12名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。(発言順に掲載)
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧くださいことができます。



田井 真一 議員
(改革未来・自民の風)
・加西市民の会



市民が頼れる新病院に～どのような医療が提供できるのか～

検査カテテルに対応するカテテル室は設置したいと考えます。

救急医療

問 24時間365日の「救急医療」は、今後も維持できるのか。
答 (病院事業管理者) 神戸大学からの応援医師の協力を得て、積極的に行っていきたいと考えます。

訪問診療

問 「通院困難者」への対応として、「訪問診療」を実施してほしい。訪問看護師がタブレットを持って患者宅へ行き、医師は病院において「オンライン診療」を行う方法はどうか。
答 (病院事業管理者) 訪問診療のニーズは間違いなく増えると思います。訪問医の確保が理想ですが、既存の医師で対応するためにも、オンライン診療ができるシステムが構築できれば、対応

は可能ではないかと思えます。

「地域医療連携推進法人」の設立を～「競争」から「協調」へ～

問 新病院が生き残っていくためには、近隣病院との「大連携」が不可欠である。「地域医療連携推進法人」の設立を前向きに検討しては。

答 (市長) 機能分担や連携の必要性は認識しています。法人設立となるとどこがイニシアチブを取るかが課題となりますが、積極的に連携を進めていきたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・法華口駅前の渋滞問題
～駅舎活用の課題と解決策～



がん治療

問 どのような「がん治療」ができるのか。

答 (病院事業管理者) 基幹病院で高次のがん治療を終えた後の回復期を中心に、「外来化学療法」や「緩和ケア」を含め、できる範囲での治療を担うこととしています。

心筋梗塞～緊急カテテル治療

問 「緊急カテテル治療」はできるのか。

答 (病院事業管理者) 以前のような緊急カテテル治療はできませんが、定期カテテルや



西脇 親 議員
(改革未来・自民の風)
・加西市民の会



皆が楽しめる玉丘史跡公園に

と、クワンス塚の水に触れる部分の土砂が崩れ落ちることもあるため、中長期的には、計画に沿って修理していきます。もう少し景観に配慮した、応急的な処置ができないか、検討したいと考えます。

問 玉丘史跡公園の今後の整備は。

答 小さなお子さんからお年寄りまで幅広い年齢層の方が、ゆったりと過ごせる公園です。市民の憩いの場としてはもちろん、玉丘古墳群の一体的な保全を図る役割も持っています。都市公園のように身近な場所にありながら、歴史遺産を間近に眺め、朝夕にはウォーキングでにぎわう公園でもあります。今後もこの環境を維持し、歴史遺産の活用も含めて、計画的に整備を進めていきたいと考えます。

問 玉丘古墳は、国指定文化財の貴重な資源。加西市にとっての重要度は。

答 古墳を含む公園の整備は平成28年に策定した計画に基づいて進めています。玉丘古墳は、来年度に発掘調査を実施する予定です。基本的には現在の古墳の姿を大きく変えることなく、樹木や散策路の整備、石棺のあった場所の埋め戻しを行う予定です。根日女伝説などの謎やロマンを秘め、加西市のアイデンティティーを形づくるレガシーとして、市内外へ発信に努めます。セミナーの開催や体験イベント等の様々なアクティビティの活用を進めていきたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・熱中症対策について
- ・土地・農地の維持管理